

愛称 マリンラボ長崎

漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科
 〒851-2213 長崎市多以良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346
 ホームページアドレス <http://www.nagasaki.nagsaki.jp/> 情報ファックス 095-850-6298

対馬・壱岐海区におけるスルメイカ漁況予報

「対馬・壱岐海区における1月～2月のスルメイカの漁獲量は、前年並みでしょう。」

予測の考え方

- 今期（1～2月）漁獲対象となる冬生まれ群は、東シナ海で冬季に生まれた後、春から夏に成長しながら北海道周辺まで北上し、秋から冬に産卵のために日本海を経て東シナ海へ南下します。本県近海では、この南下群を冬季に漁獲対象としています。
- 今期の予測は冬季発生群の加入状況や漁場への来遊状況が根拠となります。

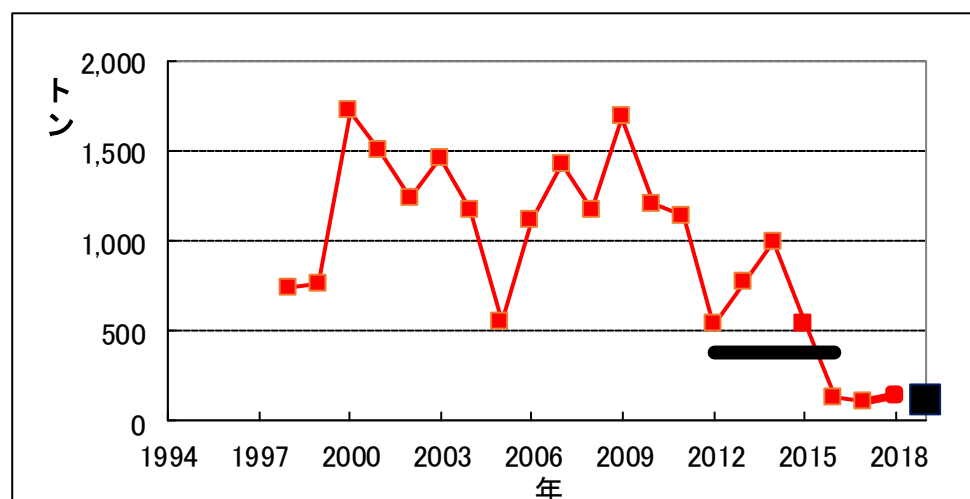
予測の根拠

- スルメイカ冬季発生群の平成30年度における資源状態は、低い（動向：「減少」・水準：「低位」と考えられています。
- また、加入量推定を行うために、秋に実施された第1次漁場一斉調査の結果では、今期の冬季発生群の量は前年を下回った、と見積もられています。
- 一方、12月までのスルメイカ冬季発生群の漁獲量は前年並みと見積もられています。

以上のように、現在の漁獲は前年並みで、加入量も低く、平成31年度の資源状態は前年度と大きな動きはない、と考えられることから、対馬・壱岐海区におけるスルメイカの今期（1～2月）の漁獲量は、漁獲が少なかった**前年と同様（前年並み）**と予測しました。

【参考】対馬・壱岐海区代表漁協における12～2月のスルメイカ漁獲量

平年値（過去5ヶ年平均）：508トン
 平成30年度漁期：134トン
 令和元年度漁期予測値：111トン



対馬・壱岐標準漁協におけるスルメイカ漁獲量 (図中黒線平年値)

上回る	並み	下回る
前年の1.2倍以上	前年の0.8～1.2倍	前年の0.8倍以下